



Diagnostic Bio Systems社 組織染色用試薬

サンプル
あります

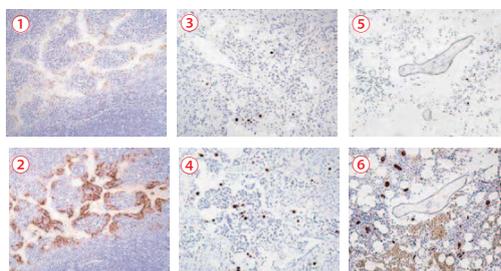
もう迷いません！ペプシン、トリプシン、プロテイナーゼ K の代わりに HISTO/ZYME を！

HISTO/ZYME

固定化によってマスキングされた免疫活性部位を脱マスキングするタンパク質分解酵素溶液。汎用されている酵素と比べて優れた染色結果が得られます！

特長

- ◎他の酵素処理法と比べて染色像が著しく改善されます
- ◎ペプシンやトリプシン、プロテイナーゼ K の代わりに使用します
- ◎室温で 5 分間インキュベーションするだけ
- ◎酵素溶液は非常に安定で Ready-to-use です
- ◎組織サンプルに優しく、他の酵素のように組織形態を変化させません



- ①サイトケラチン AE1/AE3、ペプシンを使用し 10 分間 37°C でインキュベーション
- ②サイトケラチン AE1/AE3、Histo/Zyme を使用し 5 分間室温でインキュベーション
- ③CMV、ペプシンを使用し 20 分間 37°C でインキュベーション
- ④CMV、Histo/Zyme を使用し 5 分間室温でインキュベーション
- ⑤GPIIIA、ペプシンを使用し 20 分間 37°C でインキュベーション
- ⑥GPIIIA、Histo/Zyme を使用し 5 分間室温でインキュベーション

メーカー略号：DBS

品名	品番	包装	希望販売価格
HISTO/ZYME	K046	15 mL	¥ 27,000
	K046-50	50 mL	¥ 82,000

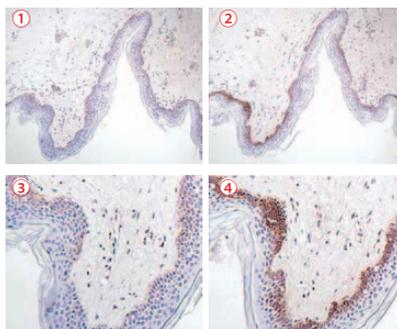
時間をかけずコストをかけず、もっとクリアな染色を！

Intensi/FIRE

DAB 染色後に 1 分間インキュベーションするだけで、
組織標本の染色強度を数倍に増強します

特長

- ◎免疫染色の感度を数倍増強させます
- ◎室温で 1 分間インキュベーションするだけで、DAB シグナルが大きく増強されます
- ◎1 次抗体を 5-10 倍に薄めて使用できるのでコストが節約でき、また反応時間の短縮ができます
- ◎シグナルが増強しても、バックグラウンドは高くなりません



- ①サイトケラチン AE1/AE3、Intensi/Fire なし
- ②サイトケラチン AE1/AE3、Intensi/Fire で 1 分間インキュベーション (室温)
- ③サイトケラチン AE1/AE3 (高倍率)、Intensi/Fire なし
- ④サイトケラチン AE1/AE3 (高倍率)、Intensi/Fire で 1 分間インキュベーション (室温)

メーカー略号：DBS

品名	品番	包装	希望販売価格
Intensi/FIRE	K045	15 mL	¥ 27,000

サンプル
あります

蛍光法／酵素法での組織染色に最適な水系封入剤



サンプル
あります

退色防止剤入蛍光組織染色用水系封入剤

フルオロマウント／プラス -Fluoromount/Plus™

蛍光色素で染色した組織にカバースリッパを乗せた標本用の退色防止剤入りの水性封入剤です。退色防止剤によって数ヶ月間蛍光を確認できます。本品は FITC やフィコエリスリン、フィコシアニン、アロフィコシアニン、テキサスレッド、ローダミンなどのさまざまな蛍光色素を用いた標本にお使いいただけます。

メーカー略号：DBS

品名	品番	包装	希望販売価格
Fluoromount/Plus™	K048	25 mL	¥ 29,000
	K048-200	200 mL	¥ 184,000

使用手順

1. 試薬ボトルの赤色チップを取り除きます。
2. 使用前に、ボトルを容器中で上下逆さまに置き、Fluoromount/Plus™ の細かい気泡を取り除きます。
3. 乾燥しないように注意しながら、組織標本から余分な水分をふき取ります。
4. 組織切片の上に Fluoromount/Plus™ を 2、3 滴滴下し、カバースリッパをそっとのせます。室温で 30-45 分間置き、Fluoromount/Plus™ を乾燥させます。

※長期保存の際はカバースリッパの端をマニキュア液でシールしてください。

蛍光法組織染色用水系封入剤

フルオロマウント -Fluoromount™

蛍光色素で染色した組織にカバースリッパを乗せた標本用の水溶性封入剤です。本品は FITC やフィコエリスリン、フィコシアニン、アロフィコシアニン、テキサスレッド、ローダミンなどのさまざまな蛍光色素を用いた標本にお使いいただけます。

メーカー略号：DBS

品名	品番	包装	希望販売価格
Fluoromount™	K024	25 mL	¥ 9,000

使用手順

1. 試薬ボトルの赤色チップを取り除きます。
2. 使用前に、ボトルを容器中で上下逆さまに置き、Fluoromount™ の細かい気泡を取り除きます。
3. 乾燥しないように注意しながら、組織標本から余分な水分をふき取ります。
4. 組織切片の上に Fluoromount™ を 2、3 滴滴下し、カバースリッパをそっとのせます。室温で 30-45 分間置き、Fluoromount™ を乾燥させます。

※長期保存の際はカバースリッパの端をマニキュア液でシールしてください。

酵素法組織染色用水系封入剤

CC／マウント -CC/Mount™

AEC や Fast Red はそれぞれペルオキシダーゼとアルカリホスファターゼを用いた免疫染色でよく使用される色素です。しかしこれらの色素で染色されたスライドは、高屈折率の水溶性永久保存封入剤がなかったため、永久保存することはできませんでした。CC/Mount™はこの問題を解決するべく開発された試薬で、標本の色素を退色させずに永久的に保存することができます。

CC/Mount™は AEC や DAB、Fast Red、BCIP/NBT、BCIP/INT のような色素および FITC やフィコビリタンパク質のような蛍光色素を用いた標本にお使いいただけます。また CC/Mount™は pH 値が高く、蛍光の安定性を上げることができます。

メーカー略号：DBS

品名	品番	包装	希望販売価格
CC/Mount™	K002	30 mL	¥ 9,000

使用手順

1. 試薬ボトルの赤色チップを取り除きます。
2. 使用前に、ボトルを容器中で上下逆さまに置き、CC/Mount™ の細かい気泡を取り除きます。
3. 乾燥しないように注意しながら、組織標本から余分な水分をふき取ります。
4. 組織切片の上に CC/Mount™ を 2、3 滴滴下します。手首を動かしながらゆっくりとガラススライドを旋回させ、CC/Mount™ の薄層を作ります。組織部分を CC/Mount™ で完全に覆うようにしてください。
5. スライドを予め 70°C に温めたオープンに入れおおよそ 10-20 分間乾燥させます (CC/Mount™ の量によって調節してください)。
6. スライドを取り出し冷ました後、顕微鏡で観察します。
7. 蛍光色素で染色した標本を加熱したくない場合はカバースリッパを CC/Mount™ の液体上のにせ、スライドを室温で 45 分から 1 時間置いて CC/Mount™ を乾燥させます。

※長期保存の際はカバースリッパの端をマニキュア液でシールしてください。

お願い および 注意事項

- 希望販売価格 … 「希望販売価格」は参考であり、販売店様からの販売価格ではございません。記載の希望販売価格は 2011 年 1 月 1 日現在の希望販売価格です。予告なしに改定される場合がありますので、ご注文の際にご確認下さい。消費税は含まれておりません。
- 使用範囲 … 記載の商品は全て、「研究用試薬」です。人や動物の医療用・臨床診断用等としては使用しないよう、十分ご注意ください。

取扱店



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部 (お問い合わせ)
TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619
TEL : (03) 5632-9620